

会 議 録

会議名	平成 27 年度 第 1 回文化会館運営委員会
開催日時	平成 27 年 11 月 26 日（木） 19 時～21 時 30 分
開催場所	不二輸送機ホール（山陽小野田市文化会館） 研修室
出席委員 (5 名)	倉田委員、猪俣委員、神徳委員、 廣田委員、寺岡委員
欠席委員 (4 名)	瀬口委員、内藤委員、河村委員、富田委員
傍聴者	なし
担当課及び 出席者	担当課：文化会館 西田館長、舩林副館長、貞弘
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 辞令交付 2. 館長あいさつ 3. 自己紹介 4. 文化会館運営委員会関係の条例・規則の説明 5. 会長及び副会長の選出について 6. 会長あいさつ 7. 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 文化会館運営方針について (2) 文化会館の運営状況について <ul style="list-style-type: none"> ・文化振興関連業務 ・会館利用実績 ・維持管理 8. その他
会議結果	<ol style="list-style-type: none"> 1. 辞令交付 2. 館長あいさつ 3. 自己紹介 4. 文化会館運営委員会関係の条例・規則の説明 5. 会長及び副会長の選出について 会長に富田委員、副会長に廣田委員を選出 6. 副会長あいさつ 7. 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 文化会館運営方針について 事務局－【配布資料 P 10】の説明 <ul style="list-style-type: none"> ○ 芸術文化を育む環境づくり <ol style="list-style-type: none"> 1 施設の利用促進 2 広域・県レベル事業の招致活動 3 民間と連携した芸術文化の鑑賞機会の充実 4 施設の整備・充実

○ 芸術文化活動の推進

- 1 子ども達の芸術文化への参加促進
- 2 特色ある事業への取り組みと展開
- 3 文化活動の支援
- 4 文化振興による文化力の底上げ
- 5 多様な芸術分野鑑賞機会の充実
- 6 市誕生10周年記念事業の取り組み

委員－土地開発公社所有地を利用した臨時駐車場が遠いため、近くに駐車場を確保するように取り組むべきではないか。

事務局－県内の他のホールと比較しても当会館ほどの広さの駐車場があるところはあまりない。できるだけ会館敷地内で収めるように努力し、駐車枠のないスペースにも駐車してもらうようにしている。これ以上の土地を買い上げて会館の駐車場にするとということになると、ここだけのことではなく市としての大きな問題となるため、非常に難しい。

委員－文化会館が新幹線の駅に近くにある利点は何かあるか。

事務局－県全域の学生中心のコンテストやコンクール、または大きなイベントで広く県外から来客があるような場合には在来線や新幹線の駅から近いことは大きな利点である。

(2) 文化会館の運営状況について

・文化振興関連業務

事務局－【配布資料P11】の説明

文化振興関連業務（平成27年度）

主催事業、共催事業

委員－昨年まで、ここ数年毎年開催されていたアラ還フェスティバルが9月の行事予定になかったが、今後の予定はどうか。

事務局－アラ還フェスティバルについては、昨年までは主催事業として年に2回、9月に小ホール、3月に大ホールで開催していたが、大変好評で是非続けたいということで、今年は共催という形で3月に一度開催する。9月に小ホールで開催しないのは、人気があり過ぎるが為に、これ以上観客が小ホールに入れなくてきており、そのために苦情も出てきており、代わりにこれを大ホールで開催するにも予算的に難しいため、年に一度大ホールで開催する。

・会館利用実績

事務局－【配布資料 P 12～23】の説明

・利用件数、利用人数等

平成 26 年度

平成 27 年度（4 月～9 月）

・主要イベントの会館利用実績（平成 26 年度）

委員－利用人数が多い年度に使用料が少なかったり、利用人数が少ない年度に使用料が多かったりするのはどういうことか。

事務局－利用人数は使用者と観客の人数が含まれているため、催し物の中身によるところもあったり、主催・共催・後援で使用料減免による利用もあるため、利用人数が多いから使用料が多くなるというわけではない。

・維持管理

事務局－【配布資料 P 24】の説明

文化会館維持管理について（修繕・改修・備品の更新）

平成 26 年度、平成 27 年度

委員－修繕等の予定で、ここに掲載されていないものはあるか。

事務局－文化会館が開館から 21 年が経過し、様々な設備や建物自体に不具合が生じており、雨漏りがあったり、舞台照明設備の更新が必要な時期になってきている。それらは長期間大ホールを使用不可する必要があったり、非常に大きな金額のかかる改修になってくるため、年次計画をもって企画・財政部門によく調整をして総合的に大規模改修するように要望を出している。

委員－地震に対する耐震性については大丈夫なのか。

事務局－建物自体の耐震性について大丈夫である。しかし、大ホール客席の天井の形式が吊り天井であり、東日本大震災で東京のほうで吊り天井が落下して客がけがをしたり死亡したりする事故があり、吊り天井に関してはすべて見直すという国の方針が出ているが、どういった工法でやれば安全なのかが示されていない。全国ほとんどのホールが抱えている問題で、大規模改修となるため工法が確立され国の指針が示されなければ手を出すことができない状況である。

8. その他

事務局－ネーミングライツについて

施設命名権 不二輸送機工業株式会社

平成 27 年 5 月から 3 年間

建物の愛称「不二輸送機ホール」

正式名称「山陽小野田市文化会館」

委員－ネーミングライツで入ってくるお金が文化会館の修繕・改修の財源として更に加えられるのか。

事務局－市の歳入として入ってくるため、直接文化会館のために使うことができるわけではないが、修繕・改修をするにあたって、この財源があるということで予算要求を受け入れてもらいやすくなった。

委員－「不二輸送機ホール」と愛称が付いてから、広報誌をはじめマスコミ等の機関で記載が目立ち、メリットのある行事が増えてきた。ネーミングライツの導入は、以前の運営委員会で委員の反対意見があったようだが、結果オーライで正解だったと思う。

委員－もっと愛称が浸透していくと良い。これからも続けていただきたい。名称が次々と変わると混乱が生じると思う。

委員－「不二輸送機 presents」でイベント事業をやっていただけなら良いと思う。

委員－文化会館の事業で、地元の文化力の底上げとしての行事があり、また貸館業務も行うなかで、音楽・演劇・絵画等で全国的・世界的に有名なもので、展示やコンサート等があれば、市外・県外からも多くこの文化会館に来てもらえると思う。

委員－文化会館に展示ホールがほしい。

事務局－第 2 回目は 3 月を予定しております。次回は日程調整をさせていただいて開催日を決定させていただきます。以上で、第 1 回目の運営委員会を終わります。ありがとうございました。